

寺
ごよみ
十月

一日 お講・板屋
一六日 お講・三門市

報恩講

一九日 午後一時 速夜
午後七時半 初夜
二〇日 午前七時 晨朝
午前十時 日中
午後一時 満座
布教 川崎順正師

二三日 眞照寺・報恩講
二四日 田家・窪野・経田
二五日 柳沢報恩講
二六日 東狐・青木・報恩講
二七日 称名寺・報恩講
二八日 新浜・飯野・報恩講
三〇日 板屋・報恩講
三一日

寺報
善巧

発行
〒938 富山県下新川郡
宇奈月町浦山 497
雪山善巧寺
電話 0765(65)0055
FAX



披露得度男長 祝杯 / 8月1日 善巧寺本堂にて

十月十九・二十日
報恩講
布教 川崎順正師

十一月四・五日
空華忌
講話 利井明弘師

今年も例年通り十月十九・二十日の両日、報恩講がつとまります。皆さんでおまいり下さるようお願い上げます。今年は特に建設の鐘音高く新しい鐘楼・会館が完成に近づいている模様を是非皆さんの目で確かめて頂き度いのです。すべて、皆様方の厚いお志の盛り上りから、此の大事業が進捗しているのだと申したいでしょう。

私なりに、此の会館の持つ意味を改めて考えて見ましよう。

不易流行と云う言葉があります。もと芭蕉の言葉です。不易と云うのは、変らないと云うことだし、流行と云うのは時代に応じて変化すると云うことです。

皆さんの善巧寺で不易と云うのは、善巧寺が永遠に仏法の聖域、念仏の道場であると云うことです。

不易流行
建設のツチ音高く

ツチフレーズが、寺報にも何度も載ったことを覚えていらつしやるでしょう。読売新聞コラム欄では「法事・葬式だけにあぐらをかいている寺院が多い中で、雪ん子劇団を初めとして時代の先取りをして活発な活動をしている善巧寺を、これこそ生きた寺院だ」と全国に紹介してくれました。

今度の会館には、先ず、善巧寺サロンがあります。誰でも何時でも気軽に入って話し合える場所です。老人は、目の前に迫っている死に就いて、壮年層は世界の環境破壊の現状に就いて、婦人層は世代間の断絶と家庭破壊の恐れに就いて、話し合うのも結構でしょう。次に善巧寺ライブラリー。図書館兼閲覧室です。本は読まれるためにあるもの。経蔵の奥に隠れていた仏書を皆様の手の届くところへ持って来る。更には、若い層のために仏典のアニメーションをお届けする等、善巧寺図書館の役割は大きいものがあります。

そして最後に、善巧寺ホール。此処は充分なスペースをとって、「お寺座」「雪ん子劇団」門徒全体を収容出来る食堂など、多目的なホールの役を致します。書いてあるだけで嬉しい気持です。どうか此の喜びを共にして頂けないでしょうか。

「寺は、ハートフルな公民館」
「寺は文化の発信地」こんなキャ

住職 雪山俊之

いい人みつけた

女優 浜 美枝さん



（拍手）
みなさん今晩は。浜美枝でございます。みなさん（仏様の方に一礼）何かおしりを向けてお話させていただくの申しわけないみたいですが、お許しください。今日は「お寺座」によるこそお越し下さいました。主催の、「花の会」は別名「日本一おいしいお菓子を食べる会」と申しましてね、私も十年もつと前からおじやまさせていたで、それ以来毎年のようにこちらに寄せていただけてます。で、今日は「いい人みつけた」という、私のラジオの番組がございまして、毎日全国ネットです。年つづいているものなんでしょうが、その中で本当に多勢の方に会います。まして、いろんな勉強をさせてい

ただいいます。

私は十八年十一月二十日生まれです。それから、もうすぐ四十八歳。あえてこの十八年とか四十八歳などと申し上げるのは、年というのとはとってゆくものではなくて、重ねてゆくものなんだなあって思うからなんです。

この十八年というのはじつは戦争の真つ只中。なにもない時代。私の父は九州熊本八代から出てまいりまして、母は三重県伊勢の出身。無一文で東京へ出てきて一緒に来たようです。小さな段ボールの工場をはじめたようですが、父が出征してい

る間に私が生まれ、ある日、母が何だか胸さわぎがするといつて兄と八代の祖母と四人で東京から神奈川の横浜の親せきの家に身を寄せたんですが、その日、東京は上空襲。結局二十三人の従業員、若い子も多かったんですがみんな亡くなりました。私が十八年というのを申しあげるの、母から聞いたあの時のことを、忘れないように、そして、子供たちにも伝えてゆきたいと思うからなんです。

そう、そんな中で私の戦後、中学を出てすぐ働きに出ました。バスの車掌さんです。一年間。とても勉強になりました。人間が生きてゆく基本というのをあそこで教えられたんだと今になつて思います。

他人さまの命をあずかり、安全確認を重ねるということ。子供を持つてはじめてわかったんですが、長男が、この命の大切さ、わかってないみたいなんです。小さいときからずいぶん

人の命だけでなく、虫やへびや草木までみんなお友だちで、お墓を通ると全部のお墓にあいさつしたり。いい方は全部、祖母のしつけで伝わったものなんです。

もう一人の息子などは、祖母の手と手をつないで「おばあちゃん、僕より先に死ぬなよ」なんていつてます。その母もこの三月になくなったのでございますが、

さて、車掌から女優へ。収入がよかったからという理由だけで転職したわけですが、おかげさまで、いろんな方と出会うことが出来ました。

人と人との出会い——それはかけがえのない財産です。画家の岩田専太郎先生は私に出会いの大切さを。写真家の土門拳先生には「本物を見るように。ニセ物を見てたらニセ物で終わるよ」と。ほんとにそうですね。

十七、八歳の頃に耳にした数々の光り輝く言葉を、いま、本当にそうだなあとかみしめながら今日も、明日も、またあたらしい出会いと、いい人を見つめる旅に出たいと思っています。この善巧寺にも、私、ずっと寄せていただこうと思っています。また、お会いいたしましょうね。

（拍手）



1990. 7. 31

寺
ごよみ

十一月

一日 お講・愛本新

空華忌

四日 午後七時半 初夜

五日 午前七時 晨朝

午後十時 日中

午後一時 満座

講話 利井 明弘師

七日 上野報恩講

一三日 出・報恩講

一四日 魚津報恩講

一五日 中新報恩講

一六日 お講・浦山新

一七日 中陣報恩講

一九日 析沢報恩講

二〇日 浦山新報恩講

二二日 石田報恩講

二七日

二八日

二九日

いい人は家族 宝物は私 仰ぐものは仏様

浜さん

若 お茶、今夜はアイ

ステイで、お菓子は、九州の長崎からの福砂屋のカステラ。

日本一おいしいお菓子をいただきますが、すてきなおしゃべりを。その前に、みなさん、ちゃんと、お茶もお菓子も手元にあるでしょうね。

食べ物うらみはこわいもんね。(笑)さあ、おいでになりまして。浜美枝さんです。

浜 どうも。私も花の会のメンバーですからね。今日はお手伝いに。仕事じゃありませんからリラックスさせてください。

若 仕事じゃないなんて、ほんとにめんなさい。ありがとう。でも浜さんはいつもどんな仕事が多いの？

浜 そうね、旅の合間に仕事をしている

Vs 若はんお寺座トークショー

というか：ドラマとか、CMとか、いろいろ。

若 自転車に乗って酵素がかわった、とか。(笑い)

浜 まあ、みんな見て下さって

んのね。

あああの

人知って

る。テレビ

で見た

ってわけ

ね。

若 それ

どうした

っていわ

れたら、

どうもし

ないんだ



浜 そりゃあモグモグ。日曜美術館、うちの方は素朴だからみんな本物をうつして

いると思っ

てる。

浜 あ、それ

はムリ。ほ

とんどはカ

タログです。で、たまには本

物を見せていただくの？

若 ほらね、知らなかった人多

いもんね。

浜 話題、変えましょ。ホラ、

今日はフジTVさんや、KN

Bさんもいらっしゃってるし。

若 そう。さっきの浜さんのお

話「いい人みつた」ありが

と。僕とってもうれしい。

若 ヘーそういうわけ。ま、

テレビは九割九分ウソだって

のが僕の思いだけ。

浜 ホントもあるわよ。

若 じゃあ、あのNHKの話は？

浜 そりゃあ

モグモグ

。日曜美術館、

うちの方は

素朴だから

みんな本物

をうつして

いると思っ

てる。

浜 あ、それ

はムリ。ほ

とんどはカ

タログです。で、たまには本

物を見せていただくの？

若 ほらね、知らなかった人多

いもんね。

浜 話題、変えましょ。ホラ、

今日はフジTVさんや、KN

Bさんもいらっしゃってるし。

若 そう。さっきの浜さんのお

話「いい人みつた」ありが

と。僕とってもうれしい。

ねえみなさん、浜さんにとつてどんな人がい

い人なのか興味あったでしよ。でもねじつは浜さんがほんとにいい人だと思っ

るのは自分の「家族」なの。

すてきだね。それに以前、僕

インタビュしたことあるん

だけど、浜さんにとつて宝物

はって聞いたことあるの。当

然、四人の子宝というだろう

と思ったら宝物：それは私

自身だわって。

浜 そうねえ、覚えてるわ。

若 いい人つて聞かれて、家

族です。宝はと聞かれて、そ

れは生かされて生きる私自身

ですと答えられるって、本当

に素晴らしいことだと思う。

浜 そんなにいついていただい

てうれしいわ。

若 オヤ、時間がない。浜さん

この「お寺座サロン」シリーズ

でお願いしたいな。

浜 ええ、是非。

若 ここには仰ぐものがあつて

本当の意味での法事、おまつ

りをやってるわけで、みなさ

んもどうぞまたお越し下さい。

お寺は文化の発信地。

浜 ここへ来れば心が洗われ、

何かの発見がある。

若 みなさんありがとう。浜さんありがとう！(拍手)

へなお、この日の会費の一部は浜さんのご厚意により、門徒会館建設費に寄付されました。

最新テープ

雪山隆弘ならではの傑作！
いよいよテープで新発売！

「煩惱カルタ

本願カルタ」

全2巻 送料共2000円

完結テープ

「お茶の間説法」

全四巻

「続お茶の間説法」

全五巻

「続々お茶の間説法」

全四巻

各セット送料共3000円

■お申し込みは

〒938 富山県下新川郡宇奈月町浦山四九七

☎〇七六五五五〇五五

善 巧 寺



法要記念建設事業 今秋完成めざして着々進行

善巧寺開基
500年
前住職 前坊守 50 回忌
平成 3 年 勤修

質問箱

来年お迎え
る善巧寺の開基
五百年、前住職
前坊守五十回忌

の大法要を前に、法要の記念事業は着々と進行して今秋に完成する運びとなりました。この欄では、これまで門信徒の皆様から寄せられた質問や疑問、お問い合わせなどをまとめて、Q&A特集としてお読みいただくことにいたします。

問 今度の法要の意義は？

答 善巧寺が門徒の皆さんの力でこの浦山に建立されて五百年という、じつにめでたい事と、博士のごえはんといわれた前住職夫婦の五十回忌を重ねて勤めるわけで、めったにないご縁、門徒のごねんきさまを迎える心とかわりありません。

問 法要といえば、今回のように記念事業がつきものなのですか？

答 やはり、これをご縁に、寺の七堂伽藍の整備を考えてゆかねばなりません。建て物をふやすというのは、わかりにくい。おとしやる通りです。しかし、古いつりがね堂を新しく

寺、法要、記念事業について

し、お経の蔵を図書室に、みそ小屋を物置きと事務室に、そして余った二階を大広間というわけです。ムダなものを建てるわけではありません。

寺はもともと文化の発信地でした。ただ、最近、多くのお寺が時代の波に遅れて、古い物を守り、法事のみに片寄り過ぎていますので、誤解されるのも無理ない事です。

問 うわさでは、その大広間は舞台にもなって、雪ん子劇団や、お寺座にも使うとか？

答 その通りです。一つの座敷を、法事のためだけでなく、十二分に利用させていただこうと考えています。

問 寺の文化活動は、寺本来の仕事とかけ離れていないか？

答 それは誤解です。お寺は、法要儀式を行うと同時に、教化伝道の道場として機能しなくてはお寺といえません。お

といわれるが、遠い門徒のものにはあまり関係ないのでは？

答 十分考えねばならないことだと思います。しかし、いまの浦山善巧寺は、二百年前の明教院さまの時代と同じように、単に地域の寺としてだけでなく、遠く全国各地からもお参りにいらっしやる心のあるところになりました。この夏だけでも、広島のお坊主、大阪の尼崎の仏婦、岐阜・高山の

親子会、氷見の社会教育グループ、東京の婦人グループなど五百人を越える方々が来院されています。みなさんも、法事だけでなく、いろんな催しに積極的にご参加下さい。それにしても、今度の法要はお寺がかなり先行しているのではないかとウワサです。

答 あるいはそういう面があったかも知れません。しかし、門徒の方々との協議をつくしましたし、総代さんとの連携もスムーズに運んでいるのは事実です。もちろん、お寺は門徒さんのものです。住職以下寺族はその寺のお守りをさせていただいているのです。ですから、そのお寺を一番よく知っているのは、一番深く命がけで関わっているのは、やはり私たち住職以下寺族であって当然です。その寺族が私腹を肥やし、寺をないがしろにしているのなら問題ですが、一生懸命に家族ぐるみで法要繁盛に努力しております。そういう点から、半歩、あるいは一歩先を考えると、うご、私たちの熱い心をお汲みとり下さい。

法要記念事業懇志志納者御芳名

(八月三十一日現在)
敬称を略します

〔門徒以外の寄進者〕

▼百万円 雪山俊之、利井常見寺、利井興弘 ▼五十万円 雪山隆弘 ▼三十万円 雪ん子劇団、▼二十五万円 山田満喜ほか ▼二十万円 善積まゆみ ▼十五万円 浜美枝 ▼十二万円 桑原淳子 ▼十万円 広瀬英明、落合はやみ、岸本満子、川口沙子、龍宝裕子、ジャパンレディースボウリングクラブ、須田開代子、道法睦子、善積治子、種村健二郎、森正隆 ▼五万円 雪山有花、福島きよ、松田みどり ▼三万円 雪山俊隆、河村ふさ、栗山秀吉 ▼二万円 雪山教隆、井堂やよい、白壁喜久子、牛島次子、武田順子、高田春枝 ▼一万円 田中澄子、今泉佐堂子、藤原清子、中谷靖、渡辺さかえ、谷口芳雄

〔門徒関係寄進者〕

▼七百万円 鬼原勝次 ▼百万円 福沢敏次、大藪トキエ ▼三十五万円 浦瀧友一 ▼三十万円 櫻稔、川瀬達也、鬼原文二 ▼二十五万円 沢田最一 ▼二十万円 岡田栄一、大藪良造、中山慶太郎、菊地良造、野島重一、船屋幸弘、鬼原みつ、鬼原貞男、川瀬久義、嶋田久一、鬼原六義 ▼十五万円 朝倉さくら、中村忠夫、清水久一、橋本庄吉、浦瀧甚一、沢田修、鬼原長之助 ▼十三万円 開沢義輝 ▼十万円 高島彦久、水越作郎、佐々木与作、高島宏、佐々木隆吉、佐々木勝武、佐藤忠行、佐々木次一、中村石夫、山本勇、寺崎巖、野崎吉郎、野崎慶三、山本浅吉、橋場仁作、橋場孝正、佐々木憲勝、橋爪正義、棚茂樹、中林与一、谷川正明、谷川広司、川口英信、川口三郎、岡田幸満、本波甚二、二口実、加藤友司、西中正毅、河村忠次、田中久、本波光雄、本波国昭、新保幸一、大藪国康、有馬文義、沢田米作、有馬勝男、本波祥伸、新保助作、沢田幸雄、本波才一、岩崎整一、大浦栄三雄、八木秀雄、沢田武次、橘信光、新保幸

夫、新保栄一、尾沢正敏、尾村石次郎、尾村豊、尾沢清浩、尾沢徳蔵、大藪敬三、本波弘毅、丸田實、開沢庄造、開沢弘治、開沢稔、開沢信一、開沢利雄、藤沢義雄、開沢茂、開沢國雄、藤沢義信、藤沢生一、谷口正、佐藤勲、山根清治、山根駒義、山根としえ、板川伊左次郎、板川進、板川忠雄、板川契、板川安二、板川久松、板川俊人、板川吉信、浦瀧武雄、浦瀧政司、浦瀧義松、鬼原隆志、鬼原孝嗣、鬼原勇、鬼原幸晴、鬼原勇作、鬼原マツエ、鬼原賢治、鬼原長吉、鬼原政栄、鬼原秀雄、島田与一、嶋田久徳、川瀬敏久、川瀬常和、川瀬恭一、川瀬正一、山本正義、鬼原作義、川瀬仁吾、佐々木理一、嶋田正一、野島威、上野一雄、佐々木安正、佐々木政信、清水清次、鬼原利秋、中村市次郎、佐々木直盛、沢田忠信、大浦征夫、浦瀧すみ子、中林健美 ▼五万円 大藪昌枝、谷梅枝、谷口律雄 ▼三万円 高島とし、沢田フナ ▼二万円 大藪トミ子、野崎栄吉

善巧寺開基
500年
前住職
前坊守**50** 回忌
平成3年 勤修

振込して下さる方へ
農協への振込先
〇七一一一〇〇〇二五四
善巧寺代表 雪山俊之
郵便局振替払込は
カナザワ九一八五二七善巧寺

募財について

問 いつまでですか。
答 じつは建設費の中間支払が九月末ということなので、

問 ところで、法要といえは、事業。事業といえは募財ということになるが、これは何とかならないものか。
答 まさにその通りで、法要といえは門徒の皆さんにお金を出していただかなくてはなりません。しかし、また、こうした法要をご縁にしないと、なかなか事業はできないものなのです。京都のご本山でもこのお寺でも同じようにしてお寺の護持発展に努力しております。

問 善巧寺はよその寺より、負担が重いのでは？
答 何とくらべて重いのか、どこのお寺と比べて多いのかは存じませんが、私たちの調べでは新川一とか、富山一とかそんな極端なものではありません。平均よりちょっと下というところだと思います。財政もかなり困難で、住職以下若院、坊守、若坊守の人員費も低く、若院はこれまでは講演、現在でも病気にかわからず執筆活動でしのいでいます。

問 今回の負担は平均一戸当たり十万円ということですね。
答 一応の目安はそうです。

問 現在の懇志額は？
答 八月三十一日現在百五十件、三千三百万円にのぼり、門徒さんの四人に一人はご寄進下さっています。

問 支払いは？
答 振込み、書留、あるいは、連絡いただければ頂だいになります。

問 門徒以外のご懇志も多いようですね。
答 ありがたいことです。善巧寺を心にかけて下さる方が全国から、多額の懇志を寄せて下さっています。門徒の皆さまと同じように、この寺を、心のふるさととして、はげまし、愛して下さっているのだと思います。

問 今後の募財計画は？
答 残った分を、門徒報恩講さんでと考えていますが、何分若院が一軒ずつお参り出来ぬ状態ですので、今回は若坊守がホンコさんまわりにも同行させていただき、一般寺費と特別懇志の集金をさせていただきます。ご協力下さい。

燃えて少年 僧となる



只今帰りました
31日のお寺座であいさつ

本山で門主を囲んで記念写真
KNBが取材

得度披露で初導師(8月1日)

大谷本願へ参拝

住職も坊主も、若院も若坊主も、総代さんも、門徒さんも、善巧寺のあとつぎ、法嗣(ほうし)新発意(しんぱち)の誕生を心からよろこんで、胸を熱くして、泣きました。いや、ほんとにうれしいかぎりです。ようこそようこそです。

得度——それは僧侶としての第一歩。これから、阿弥陀さまのおっしゃることを聞き、親鸞さまのおしえを聞き、明教院さまの心を汲みとるまで、がんばってほしいと思います。まずは釋俊隆(しやくしゅんりゅう)の得度アルバムと所感を——



現在僕は、京都の平安高校へ父の実家である大阪の高槻という所から通っています。

平安高校に入った理由は、寺の息子だということ、ちょうど高校受験期、父が重い病にかかり、これまでのように寺の仕事ができなくなりました。そこで僕は自分の受けたショックと早く父のために寺の役に立たねば、という思いから、浄土真宗本願寺派である平安高校の受験を決意しました。

南無帰依仏

平安高校は京都駅から歩いて20分ぐらいの所にあります。平安は男子校で生徒数は二千ぐらいの学校で、一学年十五クラスで編成されていて、現在僕は二年五組です。学校生活も学園祭や体育祭などで、今が一番楽しい時です。まあ、ぜいたくをいえば、共学のほうがよかったかなと思うことがあります。そんなことはさておき、平安に入ってから一番重要なことは仏教を学ぶことです。これは毎週火曜日と金曜日の7時間目に仏教コースとして勉強しています。仏教コースは寺の子ばかりで十四人います。僕としては宗門校だからもっとたくさんの方がいい

と思うので、少し驚きました。でもこれぐらいの人数のほうが勉強するにはいいかもしれません。

ところで話はかわりますが、今年の七月下旬に得度を受けてまいりました。得度をした理由はというと、当然、僧侶になるための資格を早くとるためです。けど、一年の時は学校のことだけで精一杯でしたし、また得度のことをまだよく知らないというところもありました。では来年は、ということ、大学受験があります。こういうことから、今年得度を受けることに決めたのです。得度習礼での簡単な一日のス

ケジュールをいいますと、朝五時半起床、清掃、朝の集い(ラジオ体操もやる)晨朝勤行、朝食、講義、昼食、課題、講義、日没勤行、夕食、課題、就寝勤行、課題の勉強、消灯。というのが得度の生活です。勤行ではお経を読むのがすごく遅くて、少しでも速くなるとやりなおしになってしまいます。だから20分程で終わるおつとめがいつも一時間ぐらいになってしまいうのです。食事のときはいっさいしゃべったらだめなので、とても異様なかんじがしました。

得度式は西本願寺御影堂でおこなわれました。堂内が真っ暗になり鐘の音にあわせて御門主が入ってこられます。御門主が「南無帰依仏」と言うと、僕達も頭を畳につけてそれにつづいて言います。それから「南無帰依法」「南無帰依僧」と同じように言います。それが終わると御剃髪です。さすがにこのときはかなり足が少々痛くても、誰一人として、ピクリともしませんでした。御剃髪が終わって御門主が法話をされて得度式が終わりました。

こうして7月30日に雪山俊隆は法名「釋俊隆」の法名をもらい僧侶にならせていただきました。僧侶になった今、これからの抱負を少し書かせてもらいます。

この善巧寺は、日本のリーダーとなりうる、なりえる寺だと思っています。だから、まず僕のこと、これは、「発展」もたしかに大切だけれども、とりあえずこの寺の今の状態を「維持」することを第一目標にがんばってゆきたいと思っています。そして今の寺の状態を完全に把握し維持できるようなったとき、新たな(第二の)出発点として、今以上に発展させ、未来の善巧寺をつくってゆきたいと思っています。そのためには雪山家だけが僕だけではありません。きつてもどうにもなりません。どうか皆様ご協力下さい。共に善巧寺のさらなる発展、未来の善巧寺をつくってゆきましょう。

雪山俊隆

は、今、日本のリーダーとなりうる、なりえる寺だと思っています。だから、まず僕のこと、これは、「発展」もたしかに大切だけれども、とりあえずこの寺の今の状態を「維持」することを第一目標にがんばってゆきたいと思っています。そして今の寺の状態を完全に把握し維持できるようなったとき、新たな(第二の)出発点として、今以上に発展させ、未来の善巧寺をつくってゆきたいと思っています。そのためには雪山家だけが僕だけではありません。きつてもどうにもなりません。どうか皆様ご協力下さい。共に善巧寺のさらなる発展、未来の善巧寺をつくってゆきましょう。

夏の日の



得度披露で門徒さんにさあいさつ(8月1日)



門徒さん宅へのお参りも



総代さんらに囲まれて



浜さんや花の会の皆さんと

ぜん

ぎょう

巧

八月二十日 晴
京都御本山の「おあさじ」におまいりする。御影堂の畳に坐って読経の声の中に在ると、心が洗われ原点に帰ったような心持ちになる。思えば私が中学一年生のとき頭を剃って得度した時も此処に来た。大学二年のとき教師習礼を受けた時も此処に来た。聖人御生誕八百年の法要に内陣出仕を仰せつかった時も此処へ来た。そして今年の夏、孫の高校二年生が得度を受けた時も此処へ来た筈である。あれを思いこれを感じる中に、一種の感慨に耽って蕩蕩然となっている自分を見出すのである。宿へ帰って粥粥を食べる。実は此の度びの上洛は、妻の実家、江州本行寺の法要におまいりするのが目的である。前住

職が、五十代の若さで骨髄性白血病で急逝してから一年になる。その一周忌が今日二時から勤修されるのである。京都駅にて乗車。能登川駅に着くと出迎えるの車が来ている。東京から、八尾から、福井から、御影から、京都から、親戚の住職達が集まって居り、夫々顔馴染の間柄で話が弾む。法要は本堂で、差定は「無量寺経作法」、導師は、八尾 聞名寺住職。広い本堂に導師の声が冴え渡る。終って、車を列ねて小さな丘の上の本行寺墓地に向う。広々とした墓地に、卵塔型の新



住職日記

しい墓が白布に包まれて建って居り、納骨を済ませて親戚男女、門徒衆一同、読経、合掌、礼拝する。愛知川町の竹平楼と云う庭の美しい料亭で会食。宴に先立って、若い住職の挨拶がある。「昨年、父が急死した時は、西も東も分らない僕たちは本当に途方に暮れて、何を何うしていいか迷ってしまいう有様でした。あれから一年。必ずしも健康とは言えず、母を抱え、学業と法務と云うむずかしい仕事を兄弟協力してどうやらやって来て、今日の一周忌を無事つとめることが出来ました。これも、皆様のお蔭で

す。僕たちは、本山の別格寺であつた本行寺に誇りを持っています。此の由緒ある寺をプライドを持って護持して行くことが亡き父の思いでもあつたに違いありません。若い僕たちに今後何かと御鞭撻下さるよう御願ひします。」ややもすると若い世代を、人類扱いしがちな明治生れの私には、涙の出るような立派な心懸けの挨拶だった。立派に寺を護持して行ってくれるに違いない。今日は、本行寺で一泊することにする。

太鼓堂 かすめて返し
大門の開く つばくらめ
しのめ 夏は逝く

新除夜の鐘

- | | |
|-----|------------|
| 三〇日 | お寺の学校もちつき |
| 三一日 | 除夜の鐘 |
| 二一日 | 左をおよみください。 |
| 一八日 | 音沢報恩講 |
| 一六日 | お講・浦山 |
| 一五日 | 内山報恩講 |
| 一四日 | 下立・愛本報恩講 |
| 一三日 | 下村報恩講 |
| 一一日 | 愛本報恩講 |
| 一〇日 | 中ノ口・赤田報恩講 |
| 九日 | お講・下立愛本 |
| 八日 | お講・下立愛本 |

今度の除夜の鐘は、新しい鐘楼ができての「撞き初め」になります。平成三年一月一日午前零時を機して鳴りわたる浦山の鐘——どうぞ、ご自分の手でお撞き下さい。お越しになった方には記念品をさしあげます。

また、新会館の「ハート・スボット」(事務所)では、お祝いのお酒も用意してお待ちしております。おさそい合わせ、浦山の新名所へどうぞ。

寺
ごよみ

十二月

雪ん子中部保母大会に 8/25

ことばの教室「雪ん子劇団」

は只今新団員五十五人。新学期

からレパートリ

(演目)とキャスト

ティンク(配役)

も変え、六月に

は黒部市の石田

小学校で熱演。

毎週月曜放課後

の練習に加わえ

て八月二十一日はお寺で



お寺座で熱演

合宿。その後もしっかり練習して、二十五日には、富山本願寺で行なわれた「保母大会」に出演。表現の大切さを訴えました。また、この日は久々に若院も出講、基調講演をさせていだき、なつかしの恩師、吉岡たすく先生とも再会しました。



恒例の浦山こども盆踊り。今年は工事で無理かなーと思っていましたら、ちょうど基礎工事の終わったところでバッチリOK！
年々集まりも多くなる一方で、近頃は遠方からの家族連れもふえています。夜店は全部夢の会、花の会、お寺の学校のOB OGで七店一律五〇円。子供たちにはワクワクドキドキのうれしい一夜でした。

蓮如さま



ごねんきなどに寺から出される蓮如さまが、このほどきれいに身ぬぐいされました。「先祖が寄進したものですから私の手で」と中陳の丸田邦昭さん。

善巧寺の常例行事

お花の会	お寺の学校	お寺の劇団	お寺の学校
毎月第一・第三土曜日	毎月一日・十六日	毎月第二土曜日	毎月第一火曜日
	正月春盆暮れ	毎週月曜四時	



雪ん子とみかんのおばちゃん(中央)と

つづく二十六日はお寺座で、夏の定期公演。遠く金沢からや、魚津市道下の親子楽しみ会などがこられてうれしい会になりました。雪ん子はこのあと九月のお寺座に入船亭扇橋師匠と出演する。

みかんのおばちゃん(中央)と

その道法さんが六月二十七日呉市広町の仏婦グループの一員としてひよっこり善巧寺へ。

「わあー、みかんのおばちゃんだ！」

お札を書いたり、文通をしている雪ん子もいて、心温まる出会いになりました。

「うれしいわ。おばちゃんはオトコセンセのお話のテープや本も持っていて、一度富山へと思っていたの。雪ん子のみなさんにも逢えて、よかった！」

とよろこんで下さって、雪ん子がみかんを持ってニッコリ笑っている写真を見ると「あれから、毎日、写真を見て、わたしもニッコリしています」とお便りいただきました。

合 掌

七月十一日、五十歳の誕生日を迎える前日に入院。ご心配をかけましたが、黒部市民病院のスタッフの皆さんのおかげで、三十一日に退院。長男俊隆の得度披露の前夜祭、浜さんとのトークショーにも間に合いました。

全国の同行、同好の方々からのあたたかいお見舞や、新会館建設へのお志、ありがとうございます。呉の多幾山さんからは新図書室「法蔵」へ、新潮文庫「百八冊」/うれしいですね。

八月二十三日、若院の実父、利井興弘・常見寺前住職、行信教学校長がなくなりました。朝お風呂に入って、着物をかえて朝のおつとめまで、ちよつと一服：そのままのめでたき往生でした。座敷には、前日に自分でかかえた祖父の辞世の一句ー合点じゃ いつなりと吹け

八十歳でした。

秋の風

